別紙３　平成３０年度
二酸化炭素排出抑制対策事業
実施計画

環境や環境問題に興味・関心をもち、人間活動と環境とのかかわりについての総合的な理解と認識があり、持続可能な社会の構築を目指して、よりよい環境の創造活動に主体的に参加できる人材の育成

滝川市（地方自治体）

【目標】

第２次滝川市環境基本計画・地域行動計画（以下「環境基本計画」）において推進する市民運動『エコライフたきかわ』に国民運動「COOL CHOICE」の視点を踏まえ、市長が主体となり全市的な取組として推進する。

【取組テーマ】

① クールビズ、② ウォームビズ、③ エコドライブ
④ 公共交通機関の利用促進

※そのほか、環境学習リーダー養成講座では、省エネ機器の買い替え促進、照明の効率的な利用促進、カーシェアリングの利用促進、低炭素物流の普及促進など多岐にわたる情報を活用した講義を行う。

（連携）
自動車学校

エコドライブ

（連携）
環境財団
短大
市内幼稚園・保育所
市内小中高校

クールビズ
ウォームビズ
公共交通機関の利用促進
省エネ機器の買い替え促進
照明の効率的な利用促進
カーシェアリングの利用促進
低炭素物流の普及促進

短大生が主体となった環境教育の実施（地球温暖化防止活動普及大使の育成）

高校生が主体となった環境教育の実施

若者への環境教育の実施と地球温暖化防止を世界規模で考えられるグローバル人材の育成を同時に行う

学生や市民が環境問題を身近なものに感じ、自らの行動を考え直す機会の提供

保育所との連携

取組の露出
（認知促進）

（連携）
地域メディア

広告媒体の活用

記事体広告掲載①
内容）
地元新聞社を活用した COOL CHOICE と低炭素ライフ実践に向けた情報発信を行う。

記事体広告掲載②
内容）
北海道内で一番多く購読されている北海道新聞に特集記事を掲載。

信頼性、的確性、即効性、適時性、信頼性に優れている新聞を活用することにより、地域に根差した情報を近隣市町村に発信し、将来的には中空知全域での「COOL CHOICE」の普及

「COOL CHOICE でエコたき」ポスターコンテスト
内容）
市内の幼稚園（保育所）・小学生・中学生・高校生を対象に「地球温暖化防止」をテーマにしたポスターコンテストを実施。それぞれの部門の優秀者のポスターを市内を走るバスに掲出し、市民への啓発活動の一助とする。

若年層が「地球温暖化防止」について興味を持ち、防止活動の方法を自ら学ぶきっかけ作りとする。
また、コンテストを大々的に宣伝する際に、公共交通機関のメリットも併せて PR することで、市民の公共交通機関の利用頻度の向上も期待できる。

COOL CHOICE でエドライブぬり絵の展示
内容）
市内の保育園児を対象に、北海道滝川西高等学校美術部がデザイン・製作した「COOL CHOICE でエコたき」普及キャラクターを活用したエコドライブぬり絵の展示を北海道内随一の入館者数を誇る市立図書館に展示する。また、同時展示として、ウオームビズ、クールビズの展示も行い、来県者への効果的な PR の場とする。

その他
① 地域密着情報誌や広報などを活用した啓発
② 市内全保育所、空知自動車学校と連携したエコドドライブ／クールビズ／ウォームビズ啓発展示

インプット・アウトプット

① エコドライブ講習会／啓発の実施
内容）
毎月行われる卒業式でのエコドライブ講習会の実施、登録者数 1,100 名のメールマガジンを活用した「エコドライブ情報」の配信（2 回／月）の他、毎月行う「高齢者運転講習会」、「免許更新講習会」に参加する約 4,000 名を対象に、エコドライブの重要性を説くパンフレットの配布と講習を行う。

② 地球温暖化防止活動普及大使の育成
内容）
國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科児童教育コース２年生を対象に、北海道内で環境教育を専門に行う（公財）北海道環境財団による養成講座を実施。地球温暖化防止の専門的な知識を持つ学生を養成し、市内保育所や小学校で環境授業を行う。
なお、普及大使が環境授業を行う保育所並びに小学校とはカリキュラム連携を行い、総合的な学習の時間などを活用して「地球温暖化とその防止策」についての授業を事前に行うことで、普及大使訪問時に行う授業の理解度を深める工夫を行う。

③ 北海道環境財団による高校生を対象とした「環境学習リーダー」養成講座の実施
内容）
文部科学省より Super Science High School（以下、SSH）に認定されている北海道滝川高等学校理数科１年生４０名が、（公財）北海道環境財団の講師から、市内の子ども達を対象とした環境授業を行うためのノウハウを学ぶ。その後、実際に市内の小学校（または保育所 or 幼稚園）を訪問（または高校体育館 or 子ども科学館に招きスタンプラリー形式の環境教育を行う）児童へ地球温暖化の現状とその防止策をテーマにした環境授業を行う。

④ 環境市民大会「高校生環境シンポジウム in 滝川高校」
内容）
SSH に認定されており「環境共生」をカリキュラムのメインに掲げている滝川高校において１年生、２年生、保護者、地球温暖化防止活動普及大使など総勢 600 名程度を対象に地球温暖化をいち早く感じることができる「気象（天気）」をテーマに、近年の異常気象と地球温暖化の関係について現役の気象予報士を講師に招き、一人ひとりの小さな環境への思いやりが将来の地球環境を守る可能性を秘めていることを理解してもらう機会とする。
また、SSH のカリキュラムの一環として取り組んでいる生物多様性と地球温暖化をテーマにした学生の発表も行う。

⑤ 滝川市立開西中学校での環境授業の実施
内容）
「エコスクール」に認定されている開西中学校１生約５０名を対象に、COOL　CHOICE と地球温暖化、省エネに関する講義とワークショップを実施する。
受け身の講義だけではなく、ワークショップを同時に行うことで、自ら考える力、自分たちの意見をまとめる力を養い、将来的に地域の環境学習リーダーにつながる一助とする。

アウトカム

・自動車学校卒業生：200 名程度
・メルマガ登録者：1,100 名程度
・高齢者運転講習会参加者：2,000 名程度
} 対象合計：3,300 名

環境教育を通じ、人間と環境との関わりについて正しい認識に立ち、自ら責任のある行動をもって、持続可能な社会づくりに自主的に参画できる人材の育成が急務であるが、同時に「知りたい」、「調べたい」という子どもの好奇心を満たし、その意欲を持続させるためには優秀な指導者を養成することが最重要課題である。
「地球温暖化防止活動普及大使」として活動する学生は、滝川市にある國學院大學北海道短期大学部において、教職課程を履修し、教育実習を終えた２学年のみを対象としており、将来教員として教壇に立った際、子ども達に身近な環境問題が地球規模の環境問題につながっていることを認識させ、地球の環境を意識した問題解決の意識・態度・行動力を育てることができるよう、授業の組み立て方のノウハウや企画力・実践力を養い、児童一人ひとりの環境への対応力を育成することができる指導者の養成を目指す。

地球環境を守り、地球温暖化の推進を止めるためには、環境に積極的に働きかけ、環境保全やよりよい環境の創造に主体的に関与できる能力を育成することや、生活環境・地球環境を構成する一員として、環境に対する人間の責任・役割を理解し、積極的に働きかけをする態度を育成することが重要である。そのためには、環境に関する事物・現象に対して興味・関心をもって意欲的にかかわろうとする態度や環境に対する豊かな感受性を育むとともに、地域の明日を担う若者を主体とした③、④、⑤、⑥の環境教育では以下の力や態度の育成に重点的に取り組む。

① 課題を発見する力
環境保全や環境問題に対して進んで働きかけ、自ら課題を発見する力

② 計画を立てる力
得られた情報から解決するための予想を立て、その予想に基づいて、観察・実験・調査等の計画を立てる力

③ 推論する力
環境保全に関わる事物・現象についての問題解決の過程で、様々なデータやグラフを解釈したり、事物・現象の原因と結果の関係を考えたりして推論する力

④ 情報を活用する力
環境保全や環境問題に関して、情報の収集・選択を行い、分類・整理などの処理を行った上で、相手の状況などを踏まえて発信・伝達する力

⑤ 合意を形成しようとする態度
環境保全や環境問題について自分の考えや意見をもってそれを表現するとともに、相手の立場や考えを理解し、合意を形成しようとする態度

⑥ 公正に判断しようとする態度
環境保全や環境問題について多面的、総合的に捉えようとするとともに、実証的に考え、合理性や客観性を伴った公正な判断をしようとする態度

⑦ 主体的に参加し、自ら実践しようとする態度
環境保全や環境問題に関する情報収集や議論に主体的に参加し、意見や情報を行いながら考えを深め、保全活動等の実践に自ら進んで加わろうとする態度